

南部バプテスト連盟 理事会 御中

2001年11月1日

日本バプテスト連盟 理事会

理事長 安藤栄二

常務理事 山下誠也

### アメリカ合衆国における統一協会の活動に関する要請書

主イエス・キリストの御名をほめたたえます。

先日の同時多発テロ事件に際しては、犠牲になられた方々とそのご家族に心からの哀悼の意を表します。また、被害に遭われた市民や企業、団体その他、復旧に向けて懸命に努力を続けておられる方々に心からの敬意を表します。事件の解明も含め、一日も早く平和で正常な日々がやってきますようにと、心よりお祈り申し上げます。

さて、今回要請をさせていただきますのは、アメリカ合衆国における統一協会（ムーニーズ）の活動についてです。世界基督教統一神霊協会（以下、統一協会という）はご存知のように、文鮮明氏が主催する組織です。統一協会は聖書を基盤としていると説明していますが、実際には聖書の教えとは似ても似つかないような教えを「原理講論」という書物を中心に展開し、広めている団体です。

例：イエスの十字架による救いは失敗した。

文鮮明が本当の再臨主（メシア）である。

韓国語によって世界言語は統一される

その他、この団体がいかに聖書の教えを捻じ曲げて教えようとしているかは枚挙にいとまがありません。

同時に、統一協会は勧誘の段階からマインド・コントロールを悪用し、日本国内では社会問題になっている「靈感商法」（根拠のない霊界話で恐怖を与え、除霊という名目で高額な商品売りつける商法）を組織的に行う団体です。この「靈感商法」については既に日本の最高裁判所で違法性が明らかにされていますが、最近アメリカの全ての州で行われたという教祖文鮮明氏の講演会、純潔教育キャンペーン、様々なバンケットは、日本でのこうした悪質な手法によって集められた豊富な資金が利用されていることは間違いありません。また統一協会は、フランスでは破壊的カルトと認定され、活動が禁止されているほどです。

私たち日本バプテスト連盟の多くの牧師を含めた日本のキリスト教会は、統一協会の日本での活動開始当初から憂慮し、ここ30年にわたり、弁護士・宗教学者・精神科医師・ジャーナリストたちとの連携の中で、統一協会の被害者家族の相談、信者の救出活動に携

わってきました。しかし、統一協会の悪質な手法は日々、形を変え、被害件数、相談件数は一向に減ることはなく、新たな被害者が発生し、家族の崩壊、人格破壊など深刻な悲劇が繰り返されています。

そうした状況の中で、最近になって「統一協会はアメリカのキリスト教界の中で公式に認められている」との情報、日本国内で流され、勧誘時に利用されています。特に私たちが憂慮しているのは、南部バプテスト連盟の或る牧師たちが、統一協会の主催するバンケットなどでスピーチに立ち、教祖文鮮明氏に対する賞賛と教義の真理性を認める発言をしているという情報です。そして、この情報をもとに、日本国内の統一協会内では、あたかも「アメリカのキリスト教界が、統一協会の真理性に気づき、統一協会の傘下に入った」というニュアンスで報じられています。これもまた、徹底的な情報管理によって信者を組織の支配下に置き続けるという、統一協会の日本での典型的・恒常的な手法です。もちろん、そうした事実があるとは思えませんが、アメリカでの南部バプテスト連盟の牧師との交流の情報が、日本での人集め・金集めの活動をさらに有効に進めるための手段として利用されているのは事実です。

時に、統一協会は豊富な資金を背景に、その名を隠し、様々なプログラム（例えば宗教者会議や言論人大会等）を企画します。どれが統一協会のプログラムであるかを見抜くことは容易ではありません。しかし、日本での統一協会の違法性、反社会性をどうぞご理解いただき、南部バプテスト連盟でも十分な注意と警戒をもって、対処していただきたく願っています。

以上は、統一協会信者からの聞き取りや、統一協会側の資料、アメリカからメール配信されてくる統一協会ウォッチャーの情報に基づいて申し上げましたので、誤認があれば、失礼をお許し下さい。こちらが入手しているそれらの情報が事実であって欲しくないということを私たちは切に願いながら、これ以上、南部バプテスト連盟の関係者、牧師たちが統一協会によって悪意を持って利用されることがあってはならないと考えます。

本件に関して、迅速かつ、適切な対応がなされていきますように要請いたします。

末筆ながら、南部バプテスト連盟の福音伝道のわざが、主なる神にあって豊かに祝福されますように、心からお祈り申し上げます。

在 主